

認定看護師 (CN) 認定審査

審査・申請の手引き

2026年

AI自動応答システム（チャットボット）のご案内



審査・申請に関する問い合わせには
「AI自動応答システム（チャットボット）」をご利用ください

パソコンから利用する場合



国会公式ホームページからご利用ください
[看護職の皆さまへ] → [資格認定制度]
(各制度のページでも利用いただけます)

スマートフォンから利用する場合



クリックするとチャットが開始

スマートフォンやタブレットではなくパソコンでの申請を推奨します

認定看護師は日本看護協会の登録商標です



公益社団法人 日本看護協会

CONTENTS

1	認定審査とは	
1-1	審査の目的	4
1-2	審査の内容	4
2	受験資格	4
3	審査日程	4
4	申請書類 	5
5	審査料と認定料 	
5-1	審査料	5
5-2	認定料	5
6	申請方法 	
6-1	アカウント設定	6
6-2	オンライン申請	10
6-3	審査料の振込	14
6-4	申請の取り下げ	15
7	受験資格有無の確認 	15
8	筆記試験 	
8-1	筆記試験の方法	16
8-2	日程	16
8-3	筆記試験会場	17
8-4	受験票	17
8-5	過去問題の開示	18
8-6	当日の持ち物及び注意事項	18
8-7	筆記試験の欠席	19
9	審査合否の確認 	20
10	登録・認定証の発行 	
10-1	認定料の振込	21
10-2	登録内容の確認	21
10-3	認定証の発行	23
11	再受験	
11-1	再受験とは	24
11-2	再受験区分及び必要な提出物・審査料	24
12	認定看護分野一覧 	25
13	特定看護分野の実務研修内容の基準 	26
14	認定登録情報の公開について 	30
15	個人情報保護方針	30
16	各種審査書類と姓が異なる場合 	31

資格取得までの流れ

アカウント設定



今後の流れ※
(例年のイメージ)

書類等の申請と審査料の振込



オンライン申請 (10 ページ)



審査料の振込 (14 ページ)

7月
※申請期間は
10日間程度



受験資格の有無の確認 (15 ページ)

9月上旬～10月



筆記試験 (16 ページ)

10月上旬

筆記試験の合否 (20 ページ)

12月下旬



合格

認定料の振込と登録 (21 ページ)



認定料の振込



個人情報の登録

12月下旬～1月



認定証、認定証カード、徽章の受領 (23 ページ)

2月下旬～3月

※申請の日程・締切日は各ページにて提示します。
ご確認ください。

1 認定審査とは

1-1 審査の目的

各認定看護分野において熟練した看護技術と知識を持ち、3つの役割（実践・指導・相談）を果たすことができる能力を有しているかを審査する

1-2 審査の内容

認定看護師（CN）として必要な能力について審査し、合否を判定する

2 受験資格

認定看護師（CN）認定審査を受験する者は、申請時点において、次の1～3に定める要件を全て満たしていなければならない

1. 日本国の看護師免許を有すること
2. 看護師免許を取得後、通算5年以上の実務研修を受けており、そのうち通算3年以上は特定の認定看護分野における実務研修であること
3. A課程認定看護師教育機関もしくはB課程認定看護師教育機関または外国においてそれらと同等と認められる教育を修了していること

A課程認定看護師教育機関（以下、A課程）

保健師助産師看護師法第37条の2に規定されている特定行為研修（以下、特定行為研修）を教育課程に組み込んでいない認定看護師教育機関

B課程認定看護師教育機関（以下、B課程）

特定行為研修を教育課程に組み込んでいる認定看護師教育機関

3 審査日程

申請・申請書類提出期間：7月7日（火）10:00～7月16日（木）15:00
受験票・試験会場の確認：9月9日（水）11:00～
筆記試験：10月7日（水）
審査合否の確認：12月23日（水）15:00（予定）

※申請書類の提出は締切厳守

4 申請書類



申請書類は A 課程と B 課程で異なるため、下記を確認の上、準備すること

A 課程

- 看護師免許証
- 認定看護師教育機関の修了証
- 特定行為研修修了証^{*1}
- 履歴書^{*2}
- 改姓を証明する書類 (該当者のみ)^{*3}

- ※ 1 特定行為研修を修了しており、審査合格後 B 課程認定看護師名簿に登録を希望する者のみ提出。複数所有している場合は、いずれか 1 枚の修了証をアップロードすること
- ※ 2 再受験でも履歴書の提出は必要
- ※ 3 改姓により、申請の氏名 (『資格認定制度 審査申請システム』に登録の氏名) と姓が異なる審査書類・情報がある場合は、改姓を証明する書類を郵送で提出。31 ページ参照

B 課程

- 看護師免許証
- 認定看護師教育機関の修了証
- 履歴書^{*1}
- 改姓を証明する書類 (該当者のみ)^{*2}

- ※ 1 再受験でも履歴書の提出は必要
- ※ 2 改姓により、申請の氏名 (『資格認定制度 審査申請システム』に登録の氏名) と姓が異なる審査書類・情報がある場合は、改姓を証明する書類を郵送で提出。31 ページ参照

5 審査料と認定料



5-1 審査料

51,700 円 (税込) ※振込手数料は申請者が負担
振込方法は 14 ページを参照

5-2 認定料

51,700 円 (税込) ※振込手数料は申請者が負担
振込方法は 21 ページを参照

6 申請方法



1. 申請期間内に、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）より申請を行う
URL : <https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx>
2. 期間内に「6-3 審査料の振込」まで完了すること。期限を過ぎての審査申請及び履歴書の提出は受け付けない
3. 入力内容に不備がある場合、画面上部にエラーメッセージが表示され、登録はできない。エラーメッセージを確認の上、再度入力し、登録すること

6-1 アカウント設定

1. 『資格認定制度 審査申請システム』へのログイン

初めてアカウントを作成する場合

[初めての方はこちら](#) より看護師免許番号を入力し、[ユーザ登録画面へ](#) をクリックする

すでにアカウントが登録されている場合

ユーザーID（看護師免許番号）と過去に自身が設定したパスワードを入力し、[ログイン](#) をクリック
※ログイン後、[個人情報編集](#) をクリックし、氏名・住所・メールアドレス・所属先等に変更がないか確認する

自身が設定したパスワードは適切に管理する

パスワードが不明な場合は、ここからパスワードの再設定手続きを行う

看護師免許番号はユーザーIDとして登録されるため、免許証原本を確認の上、正確に入力する

2. 基本情報の登録

基本情報を入力する

※（推奨）サブメールアドレスも登録する
（ログインパスワードを紛失した際の手続きが容易になる）

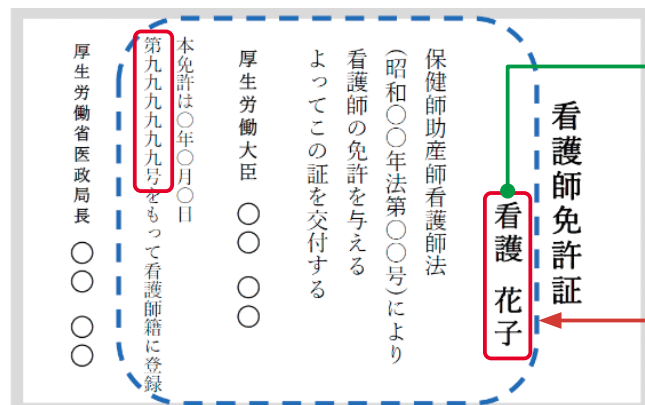
- ・自宅情報として登録された「都道府県」に基づき、筆記試験の受験会場が決定される
- ・個人情報は、上記登録完了後も編集が可能（変更が生じた際は速やかに情報を更新すること）

3. 看護師免許証・認定看護師教育機関の修了証等のアップロード

1) アップロード用画像の準備

- ・看護師免許証、教育機関の修了証、特定行為研修修了証（該当者のみ）をデジタルカメラ・携帯端末等で撮影する。ファイルの形式は、JPG・JPEG・GIF・PNG とする
- ・以下について、鮮明に撮影した画像データとする
 - ・看護師免許証：氏名・免許番号
 - ・教育機関の修了証：氏名・教育機関名、修了年月日
 - ・特定行為研修修了証（該当者のみ）：特定行為研修機関名、修了年月日、修了した特定行為区分

看護師免許証

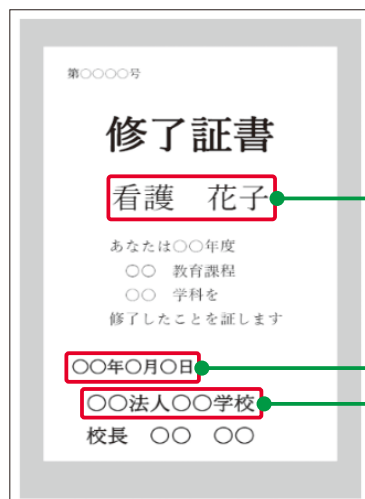


アップロード前にここをチェック

- 以下は読取可能か
- 氏名
 - 看護師免許番号

免許証全体の読み取りが困難な場合は、第九九九九九号の部分がかかるように撮影する

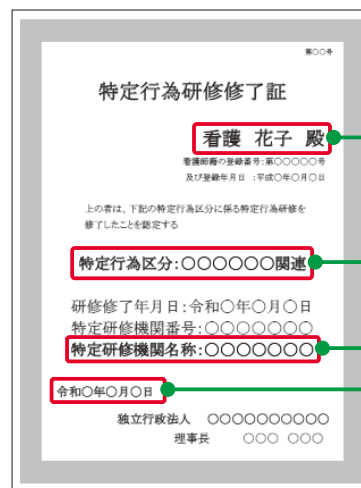
認定看護師教育機関の修了証



アップロード前にここをチェック

- 以下は読取可能か
- 氏名
 - 教育機関名
 - 修了年月日

特定行為研修修了証（該当者のみ）



アップロード前にここをチェック

- 以下は読取可能か
- 氏名
 - 指定研修機関名
 - 修了年月日
 - 修了した特定行為区分

2) 看護師免許証等のアップロード

①画像アップロードをクリック

看護師免許証画像確認
データス

看護師免許証

画像未登録

画像アップロード

過去の審査でアップロード済みの場合は不要

②画像をアップロード

画像選択

画像パス

ファイルを選択

サンプル画像

アップロードされた画像

キャンセル

選択完了

アップロード画面がポップアップウィンドウで表示される

事前準備した免許証画像を選ぶ

画像を確認し、**選択完了**をクリック

4. (修了者のみ) 修了した特定行為区分の登録

個人情報編集

基本情報

看護師免許番号

中略

特定行為研修修了の有無

有り 無し

21区分全て選択

呼吸器（気道確保に係るもの）関連

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 循環器関連

心臓ドレーン管理関連 胸腔ドレーン管理関連

腹腔ドレーン管理関連 ろう孔管理関連

栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

創傷管理関連 創部ドレーン管理関連

動脈血液ガス分析関連 透析管理関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

感染に係る薬剤投与関連

血糖コントロールに係る薬剤投与関連 術後疼痛管理関連

循環動態に係る薬剤投与関連

精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

皮膚損傷に係る薬剤投与関連 在宅・慢性期領域/パッケージ

外科術後疼痛管理領域/パッケージ

術中麻酔管理領域/パッケージ 救急領域/パッケージ

外科系基本領域/パッケージ 集中治療領域/パッケージ

修了した特定行為区分

特定行為研修修了の有無の **有り** を選択する
→ [修了した特定行為区分] のチェックボックスが表示される

修了した特定行為区分全てにチェックを入れる
21区分全て選択 をクリックすると、領域別パッケージを除く全ての特定行為区分にチェックが付く

・1つ以上の特定行為区分をチェックすること
・領域別パッケージを修了し、免除されている特定行為の研修も追加で修了している場合は、当該特定行為を含む特定行為区分にもチェックする
例：在宅・慢性期領域パッケージに加え、「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」も修了
→「在宅・慢性期領域パッケージ」及び「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」をチェックする

5. 所属先情報の登録

所属先情報

就業状況 **必須** 就業中 離職中

※「就業中」の場合、所属先情報は必須入力となります。
 ※「離職中」の場合、郵便物送付先は「自宅」となり、所属先情報の入力/変更はできません。

施設名選択

法人名

施設名

郵便番号

都道府県

市区町村

番地

マンション・ビル名

部署名

職位

常勤・非常勤

診療報酬算定に係る施設
 基準の届出状況

郵便物送付先 **必須** 自宅 職場

【法人名】

就業中の場合、プルダウンから都道府県名を選び、検索ボタンをクリック

→次画面にて、所属先施設名もしくは「該当なし」をクリック

→該当なしの場合、再度<所属先情報画面>に戻るの
 「法人名」以下を手入力で入力する

【番地】

全角で入力

所属先情報は登録完了後も編集が可能
 (変更が生じた際は、自身で情報を更新すること)

6. 個人情報保護方針及び登録情報の確認

- 1) [日本看護協会個人情報保護方針はこちら] をクリックし、内容を確認
 →同意の場合、[個人情報保護方針を理解し承諾する] にチェックする
- 2) [確認画面へ] をクリックし、<個人情報編集確認画面>にて情報を確認する
 →内容が正しければ [登録する] をクリック
 入力した内容に不足等があれば、[入力画面に戻る] で編集画面に戻り修正する

6-2 オンライン申請

1. 審査申請

①申請メニューをクリック

②認定をクリック

③修了した課程区分・分野を選択

<認定申請入力画面>が開くので、修了した課程区分(A課程・B課程)を選択し、分野名をプルダウンから選択

④選択した課程ごとに必要事項を入力する

● A 課程修了者

【入学年度】
修了年度と修了年月を混同しやすいため、十分確認すること
(例：修了年月が2025年3月の場合、修了年度は2024年度を選択する)

「画像アップロード」をクリックし、教育課程修了証の画像をアップロードする

特定行為研修を修了している場合は、「B課程の認定者名簿への登録を希望する」をチェックすると、<特定行為研修情報の入力画面>が開く。入力画面は11ページ参照。なお、チェックは任意とする。

入力内容を確認後、「確認画面へ」をクリックし、<確認画面>で提出内容に誤りがないか最終確認する

● B 課程修了者

【入学年度】

修了年度と修了年月を混同しやすいため、十分確認すること
(例：修了年月が 2025 年 3 月の場合、修了年度は 2024 年度を選択)

「画像アップロード」をクリックし、教育課程修了証の画像をアップロードする

入力内容を確認後、「確認画面へ」をクリックし、＜確認画面＞で提出内容に誤りがないか最終確認する

⑤ 入力内容を確認し、申請する

- 1) 入力内容に追記・修正する場合は、「入力画面に戻る」で編集画面に戻り追記・修正を行う
- 2) 「申請する」をクリック
「申請する」をクリックした後は内容の追記・修正はできないため、十分確認の上、申請すること
- 3) 「認定審査申請を受付いたしました」のメッセージが表示される
→登録したメールアドレスに『審査申請受付 / 振込口座の案内』が送信される



・認定申請完了が表示されるまで必ず確認する

- ・メールに記載されている情報は、＜申請状況一覧画面＞にて確認が可能となる
- ・メールが届かない場合は『資格認定制度 審査申請システム』画面下 [よくある質問] → [メールについて] を確認すること

【A 課程修了者のうち特定行為研修を修了し B 課程認定看護師名簿への登録を希望する場合】

「B 課程の認定者名簿への登録を希望する」にチェックを入れると＜特定行為研修情報の入力画面＞が開く

各項目を入力または選択し、特定行為研修修了証の画像をアップロードする

2. 履歴書の提出

- ・ 看護師免許を取得後、通算 5 年以上の実務研修経験があり、そのうち通算 3 年以上は特定の認定看護分野における実務研修を行っていることを確認するため、履歴書を提出する
- ・ **期日までに履歴書の提出がない場合は、受験することができない**

①申請状況一覧をクリック

申請メニュー

認定看護師、認定看護管理者、及び専門看護師の各種申請が行えます。

申請状況一覧

各種申請状況の照会とオンライン書類の登録・提出ができます。

②認定看護師をクリック

現在の申請状況

年度 申請区分: 認定

認定看護師(課程)[]

③確認・編集画面をクリックし、入力画面を開く

オンライン申請書類

履歴書	未提出	確認・編集
-----	-----	-------

<履歴書編集画面>が開く

入力する前に必ず確認

- ・ 申請時点の情報について記載する
- 【職歴】**
- ・ 看護師免許取得後の全ての看護実務（教育職を含む）を、施設先・部署・職位が変わるごとに記載する
 - ・ 所属先の名称は、正式名称を記載する
 - ・ 期間（年月）を重複して入力することはできない
 - ・ 連続で 6 カ月以上の研修、進学、休職、教育職、看護実務のない企業等の在職期間については、分野区分は「その他」を選択する
 - ・ 勤務形態が非常勤の場合、「実質勤務時間 150 時間」を「1 カ月」相当として勤務月数を算出し、「期間（月数）」を入力する
 (例) 150 時間 = 7.5 時間 (実質勤務時間) × 20 日
 - ・ 准看護師での勤務期間、看護実務以外での就業期間については記載しない



看護実務研修期間が規定に達していない場合、**提出する** ボタンは有効にならない

● 履歴書編集画面

履歴書

※履歴は、修正見込みも記載してください。

行を追加

学歴/職歴 **必修** 学歴

入学年月 **必修** 年 月 修了年月 **必修** 年 月

期間(月数) 0か月

教育機関名 **必修** 例) ○△大学大学院マ科

備考

削除する

職歴を入力する

学歴/職歴 **必修** 職歴(非常勤) 分野区分 **必修** 当該看護分野

開始年月 **必修** 年 月 終了年月 **必修** 年 月

期間(月数) **必修** 0か月 所属施設名 **必修** 例) △△病院

部署 **必修** 例) 消化器内科病棟 職位 **必修** 例) 主任

削除する

看護実務研修期間の確認

当該看護分野 ※36ヶ月以上	120
当該看護分野以外	0
合計 ※60ヶ月以上	120

看護研修実務期間（職歴から自動計算）が当該看護分野36 カ月以上、合計 60 カ月であることを確認する

保存する

確認画面へ

申請状況詳細へ戻る

行を追加 をクリックし、履歴書の入力行を表示する

学歴を入力する

職歴は、「分野区分」のプルダウンから「当該看護分野」「当該看護分野以外」「その他」を選択し、それぞれの履歴の内容を入力する

入力内容を一時保存する場合は **保存する** をクリック

入力内容を確認後、**保存する** をクリックの上、**確認画面へ** をクリックし、＜履歴書確認画面＞で提出内容に誤りがないか最終確認する

入力内容に不備がある場合、画面上部にエラーメッセージが赤字で表示され、保存や確認画面に進むことができない。エラーメッセージを確認の上、入力内容を修正し、再度 **保存する** または **確認画面へ** をクリック

確認画面へ をクリックする前にここをチェック

※提出後は、内容の追記・修正は行えない

- 当該分野の看護実務研修期間が 36 カ月以上あるか
- 看護実務研修期間が合計 60 カ月以上あるか
- 職歴は、施設先・部署・役職が変わるごとに記載されているか
- 勤務形態が非常勤の場合、「実質勤務時間 150 時間」を 1 カ月相当として入力しているか
- 申請後は、内容の追記・修正はできない。十分確認したか

● 履歴書確認画面

- 1) 入力内容に追記・修正する場合は、**入力画面に戻る** をクリックし、＜履歴書編集画面＞へ戻り追記・修正を行う
- 2) **提出する** をクリック



- ・期日までに必ず **提出する** をクリックし、提出を完了すること
- ・期日までに履歴書の提出が確認できない場合、書類不備として不合格となる
- ・**提出する** をクリックした後は内容の追記・修正はできないため、十分確認の上、提出する

● 申請状況詳細画面

オンライン申請書類

履歴書 提出済 確認・編集

「提出済」となっていることを確認する

必ず確認

- 提出済になっているか

6-3 審査料の振込



● 審査料

51,700 円（税込）※振込手数料は申請者が負担

● 振込口座番号の確認

以下のいずれかの方法により確認する

振込口座番号は申請者ごとに異なるため、他の申請者の口座に振り込まないように注意する

1. 『資格認定制度 審査申請システム』

ログイン→<申請状況一覧画面>の **認定看護師** をクリック→<申請状況詳細画面>に表示される「審査料」

審査料	
お支払金額	円
お支払期限	年 月 日 時
振込先	銀行名： 口座番号： 口座名義： <small>※ATM等で文字数の制約上、途中までしか表示されないことがあります。 ※振込時、振込人はご自身の氏名をカタカナで入力してください。</small>

2. 審査申請時に登録メールアドレスに送信された『審査申請受理 / 振込口座の案内』のメール

● 振込期間

7月7日(火)10:00～7月16日(木)15:00

期日までに必ず審査料を振り込むこと。

● 振込にあたっての注意

- ・振込名義は申請者の氏名（カタカナ）とし、施設名での振込はしないこと
- ・入金を確認されると、「審査料」の欄に赤字で「入金確認済」と表示される
※振込後、5 営業日程度で反映
- ・振込明細票等の提出は不要（自身で保管すること）。なお、振込明細票は税法上正式な領収書として利用できる
- ・既納の審査料は、いかなる理由があっても返還しない

6-4 申請の取り下げ

申請期間内に限り、申請の取り下げを受け付ける

申請を取り下げる場合は、認定部宛（shinsei@nurse.or.jp）にメールを送信すること

メール送信の際は、下記の内容を記載すること

- ・メール件名：CN 認定審査申請取り下げについて
- ・本文記載事項：氏名、申請 ID、取り下げ理由



申請期間終了後は、いかなる理由があっても申請の取り下げは受け付けません

7 受験資格有無の確認



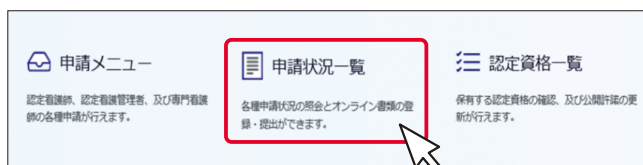
● 日程

9月9日(水)11:00～10月7日(水)

● 書類審査合否の確認

- 1) 合否の発表日時以降、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL : <https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx>
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン

① 申請状況一覧をクリック



② 書類審査合否の確認



資格名をクリック→<申請状況詳細画面>を開く

書類審査合否に「-」が表示されているかを確認する



- ・「-」の表示がある：筆記試験を受けることができる。受験票をダウンロード・印刷する。17ページ「8-4 受験票」を参照すること
- ・「-」の表示がない：筆記試験を受けることができない

8 筆記試験



8-1 筆記試験の方法

● 時間

100分

● 出題方式

マークシート方式、四肢択一

● 問題構成

全40問

- ・客観式一般問題 …… 20問 50点
- ・客観式状況設定問題 …… 20問 100点

● 出題範囲

- ・客観式一般問題 …… A課程：認定看護師教育基準カリキュラムの共通科目のうち全分野で共通する必修科目*

※以下7科目

「医療安全学:医療倫理」「医療安全学:医療安全管理」「医療安全学:看護管理」「チーム医療論(特定行為実践)」「相談(特定行為実践)」「臨床薬理学:薬理作用」「指導」

B課程：認定看護師教育基準カリキュラムの共通科目

- ・客観式状況設定問題 …… 各認定看護分野の専門科目(A課程は専門基礎含む)

【各認定看護分野の教育基準カリキュラム】

A課程 URL： https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/vision/cn/cn_curriculum_a.html

B課程 URL： https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/vision/cn/cn_curriculum_b.html

● 合格基準

筆記試験は150点満点とし、下記のとおり評価する

合格：105点以上

内訳) 客観式一般問題 50点中 35点以上 (70%以上)

客観式状況設定問題 100点中 70点以上 (70%以上)

不合格：客観式一般問題または客観式状況設定問題のいずれか、またはいずれも配点基準を下回った場合

8-2 日程

10月7日(水)

8-3 筆記試験会場

- ・申請時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている自宅住所の都道府県の各会場での受験となる
- ・試験会場の住所・施設名等は受験票に記載。会場周辺地図は受験票にある QR コードを読み込むことで確認できる

試験に関する問い合わせや当日の緊急連絡先は認定部（電話番号は受験票に記載）まで。試験会場への連絡は行わないこと

8-4 受験票

● 受験票の印刷

① 申請状況詳細画面から受験票を表示

筆記試験	
試験会場	会場
試験日	年月日
受験票	印刷画面を表示する

受験票印刷画面はポップアップウィンドウで表示される。ブラウザのポップアップブロックの設定が有効（ポップアップウィンドウをブロックしている）の場合、受験票画面は表示されない。ポップアップブロックの設定解除については、『資格認定制度 審査申請システム』画面下の「よくある質問」の「審査申請について」を参照する

② 受験票の印刷

(画面例)

年度 認定審査 受験票		受験番号
申請年度	資格区分	分野
申請ID		
フリガナ	本人署名※	
氏名		
生年月日	※ 署名欄には直筆で署名をお願いします。本人の署名をもって、審査合格後の認定登録の届出権限となります。	
右遷昇免許番号	※ この受験票は筆記試験中に回収し適切に管理いたします。	
筆記試験日	開場時間	集合時間
試験会場		
試験会場住所		

印刷

受験票に記載されている内容（本人氏名、試験会場等）を確認し、画面最下部の **印刷** をクリックし、印刷する

- ・ A4 サイズの用紙に縦向きに印刷すること（白黒可）
- ・ **印刷** ボタンはスマートフォンは非対応

● 受験票の本人署名

印刷した受験票の「本人署名欄」への**直筆の署名**をもって、審査合格後の認定登録及び氏名・都道府県名公表の意思確認とする

8-5 過去問題の開示

- ・ 期間：審査料の振込確認後～10月7日(水)17:00
- ・ 対象：当該年度の認定看護師（CN）認定審査申請者
- ・ 内容：前年度の認定審査の筆記試験問題

※前年度の申請者がおらず筆記試験がなかった分野は、直近の筆記試験問題を開示する

【閲覧方法】

- 1) 期間内に、『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL：https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン
- 3) 申請状況一覧をクリックし、下記画面からダウンロード

筆記試験	
試験会場	東京都
試験日	年 月 日
過去問題	ダウンロードする

8-6 当日の持ち物及び注意事項

● 当日の持ち物

受験票	受験番号、本人氏名、試験会場情報が正しく記載されているか確認し、記載に誤りがある場合には速やかに認定部に連絡すること ※「本人署名欄」に直筆で署名する（消せるボールペンの使用不可） ※署名をもって審査合格後の認定登録及び氏名・都道府県名公表の意思確認とする
本人確認書類	顔写真付きの本人確認書類（運転免許証、有効なパスポート、写真付き社員証、マイナンバーカード等） ※試験会場で「受験票」と「顔写真付きの本人確認書類」を照合により本人確認を行う
時計	試験会場に時計の用意はないので、時計を持参すること ※時計は、時計機能のみのもの（アラーム機能が解除でき、秒針等の音が周囲に聞こえないもの）。電卓、通信またはメモ等の機能がある時計や携帯電話を時計としての使用は不可
筆記用具	記入用のHBまたはBの鉛筆、シャープペンシル、消しゴム ※ボールペンは記入が正しく読み取れないため使用不可。試験会場での筆記用具の貸与等は行わない

● 受験の注意事項

- 1) 試験開始後の会場への入室は認められない。遅刻厳禁
- 2) 会場内への大きな手荷物の持ち込みはできない（椅子の下、足元に納まる程度まで）
- 3) 机の上に置くことができるのは受験票、時計及び筆記用具のみ。下敷きや定規は使用できない
- 4) 試験開始後、一度退室したら再入室できない

8-7 筆記試験の欠席

やむを得ない理由により試験を欠席する場合、下記の手続きにより、翌年度の認定審査 1 回に限り、審査料を免除の上、認定審査を受験することができる

なお、以下の手続きを行わなかった場合、翌年度の審査料は免除されない

手続きの方法

- 1) 欠席する旨を筆記試験日当日の試験開始 30 分前までに、認定部（受験票に記載）まで電話で連絡する
- 2) 電話連絡時に指示された期日までに、認定部（認定看護師担当）にメールで欠席の連絡をする。メールアドレスは 1) の電話連絡の際に伝える。メールには、氏名・分野名・申請 ID・会場を記載する
- 3) メールでの欠席の連絡の受理後、数日以内に認定部から欠席手続き完了のメールを送信するので、内容を確認する

※欠席手続き完了のメールが届かない場合は、再度認定部にメールをすること

- 4) 翌年の申請の際は、『認定看護師（CN）認定審査 審査・申請の手引き』を参照し、審査申請を行う

9 審査合否の確認



● 日程

12月23日(水)15:00(予定)

● 審査合否の確認

- 1) 合否の発表日時以降に『資格認定制度 審査申請システム』（下記アドレス）にアクセス
URL：https://nintei.nurse.or.jp/certification/Nurse/NLGI01/NLGI01.aspx
- 2) ユーザーID、パスワードを入力しログイン
- 3) 申請状況一覧をクリックし、下記画面より確認

現在の申請状況

年度 申請区分：更新
認定看護師

申請ID	オンライン申請書類	提出済
審査合否	合格	

中略

合否結果

書類審査：合格

審査合否：合格

認定看護師 をクリック

合格または不合格が表示される

・ 合格の場合、得点を開示していないため表示されない
・ 不合格の場合のみ、得点が開示される

合格の場合

認定料

お支払金額 円

お支払期限

振込先

銀行名：
口座番号：
口座名義：
※ATM等で文字数の制約上、途中までしか表示されないことがあります。
※振込時、振込人はご自身の氏名をカタカナで入力してください。

入金情報を確認する

● 合格者の公表について

全ての合格者（新規認定者）の氏名及び所属都道府県名を本会公式ホームページで公表する。公表期間は合否開示の3週間後～1カ月間

● 当該年度審査問題の開示

- ・ 対象：当該年度の認定看護師（CN）認定審査申請者
- ・ 内容：当該年度認定審査の筆記試験問題
- ・ 方法：合否発表から3週間後に、『資格認定制度 審査申請システム』の「認定審査に申請された方へお知らせ」から閲覧・ダウンロード



認定審査申請者へ開示後、認定看護師教育機関にも次年度筆記試験前日まで開示する

10 登録・認定証の発行



10-1 認定料の振込

● 認定料

51,700 円（税込）※振込手数料は申請者が負担

● 振込口座番号の確認

以下のいずれかの方法により確認する

振込口座番号は申請者ごとに異なるため、他の申請者の口座に振り込まないように注意する

1. 『資格認定制度 審査申請システム』

ログイン→<申請状況一覧画面>の **認定看講師** をクリック→<申請状況詳細画面>に表示される「認定料」

2. 審査申請時に登録メールアドレスに送信された『審査申請受理 / 振込口座の案内』のメール

● 振込期間

12月23日(水)15:00～2027年1月8日(金)15:00

認定料の振込がない場合は登録手続き及び認定証発行ができないため、期日までに必ず振り込むこと。

● 振込にあたっての注意

- ・振込名義は申請者の氏名（カタカナ）とし、施設名での振込はしないこと
- ・入金を確認されると「認定料」の欄に赤字で「入金確認済」と表示される
※振込後、5 営業日程度で反映
- ・振込明細票等の提出は不要（自身で保管すること）。なお、振込明細票は税法上正式な領収書として利用できる
- ・既納の認定料はいかなる理由があっても返還しない

10-2 登録内容の確認

● 登録内容

認定登録手続き完了後、認定部から全認定者にメールで連絡する。認定部からのメールを受信後、『資格認定制度 審査申請システム』にログイン

- 1) メインメニューの「認定資格一覧」をクリック
- 2) 下記画面から登録内容を確認

認定資格一覧			
認定看講師(課程) []			
認定登録番号	認定年月日	年月日	
有効年月日	年月日	更新年月日	
発行年月日			
氏名/非公開	非公開 変更する	施設名/非公開	非公開 変更する
修了した特定行為区分/非公開	非公開 変更する		

認定申請した資格が表示されていることを確認する

【認定年月日】

認定申請した資格の認定年月日が当年であることを確認する

【有効年月日】

認定申請した資格の有効年月日が「当年 + 5 年後の 12 月 31 日」であることを確認する

氏名・施設名の公開 / 非公開の設定は **変更する** をクリック

【修了した特定行為研修公開 / 非公開】
全ての申請者に表示される

● 個人情報保護方針

30 ページを参照すること

● 認定登録情報の公開について

30 ページを参照すること

● 情報公開の設定

- 1) 認定登録情報（氏名及び所属施設名）を本会公式ホームページ上で公開することの可否を設定する。設定しない場合、情報は公開されない
- 2) メインメニューの「認定資格一覧」をクリック→<認定情報公開許諾更新画面>を開く

認定情報公開許諾更新

日本看護協会公式ホームページにおける情報公開について
日本看護協会公式ホームページでは、認定者の氏名、所属施設、修了した特定行為区分（認定看護師のみ）の情報公開を行っております。情報を公開することにより、所属施設または認定者への問い合わせ等が増加することも考えられます。所属施設名の公開については、ご自身でご所属施設の許諾を得たうえで入力してください。
また、以下についてもご了承の上、公開・非公開の入力をお願いします。
所属施設を公開設定し、個人情報編集画面より離脱中を設定した場合、分野別都道府県別登録者検索や統計等にはご自宅の都道府県で表示/集計がされます。
所属施設を非公開設定した場合、分野別都道府県別登録者検索の都道府県を指定した検索では氏名の表示がされません。

認定看護師(B課程) [クリティカルケア]

認定登録番号		認定年月日	年 月 日
有効年月日		更新年月日	-
移行年月日	年 月 日		
氏名 公開/非公開	非公開	施設名 公開/非公開	非公開
修了した特定行為区分 公開/非公開	非公開		

確認画面へ
一覧画面へ戻る

表示されている注意を確認する

氏名・施設名の公開 / 非公開について設定する

確認画面へ をクリック→
<認定情報公開許諾更新確認画面>にて [更新] をクリック

参考

『資格認定制度 審査申請システム』で公開設定にした場合、本会公式ホームページでは、認定登録者の情報は下記のように公開される

資格区分* 認定看護師 認定看護管理者 専門看護師

課程区分 B課程 分野 全て

施設所在都道府県 全て 施設種類 全て

※離職の方は、自宅所在都道府県となります。

施設設置主体名 全て 施設法人名 ※部分一致

所属先施設名 ※部分一致 修了した特定行為区分 全て

氏名(漢字) 姓 ※部分一致 名 ※部分一致

検索

特定行為区分（「修了した特定行為区分」欄に表示される数字または略称は以下のとおりです）

1: 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	10: 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	19: 循環動態に係る薬剤投与関連
2: 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	11: 創傷管理関連	20: 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
3: 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	12: 創傷ドレーン管理関連	21: 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
4: 循環器関連	13: 動脈血ガス分析関連	在宅; 在宅・慢性領域/パッケージ
5: 心臓ドレーン管理関連	14: 造形管理関連	外科術後; 外科術後療養管理領域/パッケージ
6: 胸腔ドレーン管理関連	15: 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	麻酔; 術中麻酔管理領域/パッケージ
7: 胸腔ドレーン管理関連	16: 感染に係る薬剤投与関連	救急; 救急領域/パッケージ
8: 乳房管理関連	17: 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	外科基準; 外科系基本領域/パッケージ
9: 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	18: 術後疼痛管理関連	集中治療; 集中治療領域/パッケージ

分野	都道府県	氏名	施設法人名	所属先施設名	修了した特定行為区分
感染管理(B課程)	北海道	菊屋 花子*	A 法人*	ABO 病院*	15, 16
感染管理(B課程)	北海道	〇〇 〇〇*	---	D 病院*	(非表示)
感染管理(B課程)	青森県	〇〇 〇〇*	B 法人*	EF 総合病院*	15, 16
感染管理(B課程)	茨城県	〇〇 〇〇*	---	G 総合病院*	15, 16
感染管理(B課程)	茨城県	〇〇 〇〇*	O 法人*	H 医療センター*	16

10-3 認定証の発行

● 認定証の発行

認定証及び認定証カードは、合格発表の前日時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている氏名で発行し、同システムの画面に表示される文字の字形にて作成する

● 認定証の受領

- ・ 認定登録の手続き完了後、認定証及び認定証カード、認定看護師徽章が交付される
- ・ 上記3点は、合格発表の前日時点で『資格認定制度 審査申請システム』に登録されている住所に送付する。
審査申請時から住所・氏名に変更が生じた場合、12月21日(月)までに同システムの[個人情報編集]にて情報を更新すること
- ・ 上記3点が届き次第、内容を確認すること

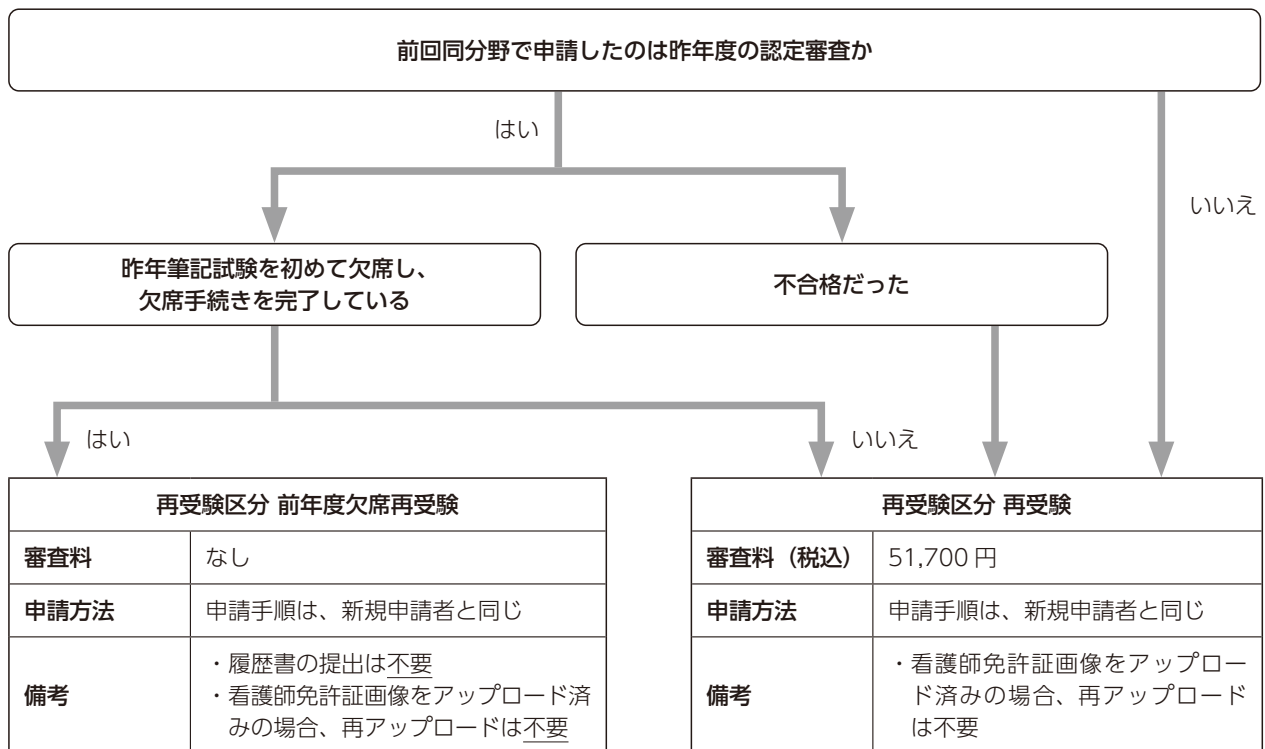
11 再受験

11-1 再受験とは

再受験とは、過去に一度でも認定看護師（CN）認定審査の申請をしたことがある受験者が、同じ分野で再度申請すること。再受験者は、以下のフローチャートに従って再受験区分を確認し、申請すること

11-2 再受験区分及び必要な提出物・審査料

過去の認定審査の申請・審査結果に基づき、以下の表で該当する再受験区分を確認すること



12 認定看護分野一覧



特定行為研修を修了した者が、A 課程認定看護師教育機関を修了し認定看護師となった場合は、以下の B 課程分野名での名簿登録となる

分野名	
A 課程	B 課程
救急看護	クリティカルケア
集中ケア	
緩和ケア	緩和ケア
がん性疼痛看護	
皮膚・排泄ケア	皮膚・排泄ケア
がん化学療法看護	がん薬物療法看護
訪問看護	在宅ケア
感染管理	感染管理
糖尿病看護	糖尿病看護
不妊症看護	生殖看護
新生児集中ケア	新生児集中ケア
透析看護	腎不全看護
手術看護	手術看護
乳がん看護	乳がん看護
摂食・嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護
小児救急看護	小児プライマリケア
認知症看護	認知症看護
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中看護
がん放射線療法看護	がん放射線療法看護
慢性呼吸器疾患看護	呼吸器疾患看護
慢性心不全看護	心不全看護



A 課程

特定看護分野の実務研修内容の基準 (特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)	
救急看護	1) 通算3年以上、救急部門での看護実績を有すること 2) 救急部門において、CPA・重症外傷・意識障害・呼吸不全・循環不全・中毒・熱傷患者等の看護の中から5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、救急部門で勤務していること、または救急部門での勤務が予定されていること
皮膚・排泄ケア	1) 通算3年以上、外科系領域またはストーマケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) ストーマ造設患者の看護を1例以上、及び創傷または失禁ケア領域の看護を4例以上担当した実績を有すること 3) 現在、創傷ケア、ストーマケア、または失禁ケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい
集中ケア	1) 通算3年以上、集中ケア部門、または小児集中ケア部門（手術室・NICUは除く）での看護実績を有すること 2) 疾病、外傷、手術等により高度に侵襲を受けた患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、集中ケア部門で勤務していることが望ましい
緩和ケア	1) 通算3年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 緩和ケアを受ける患者を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい
がん化学療法看護	1) 通算3年以上、がん化学療法を受けている患者の多い病棟・外来・または在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) がん化学療法を受けている患者の看護（がん化学療法薬の投与管理の実績があることを必須とする）を、5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、がん化学療法を受けている患者の多い病棟、外来で勤務していることが望ましい
がん性疼痛看護	1) 通算3年以上、がん患者の看護実績を有すること。病棟での看護実績を有することが望ましい 2) 病状の進行等に伴って生じる持続的な痛みを有するがん患者の看護を5例*以上担当した実績を有すること 3) 現在、がん患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい ※ 10例程度の経験があることが望ましい。ただし、教育課程への提出事例は5事例でよい
訪問看護	1) 通算3年以上、在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 医療処置及び管理を要する患者の在宅における看護（退院支援を含む）を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、在宅ケアに携わっていることが望ましい
感染管理	1) 通算3年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース会等）を有すること 2) 感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること 3) 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい 4) 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい
糖尿病看護	1) 通算3年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来での看護実績を有すること 2) インスリン療法を行っている糖尿病患者または合併症のある糖尿病患者の看護を、合わせて5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい
不妊症看護	1) 通算3年以上、不妊症患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること 2) 不妊症患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、不妊症患者の多い病棟・外来等で勤務していることが望ましい
新生児集中ケア	1) 通算3年以上、新生児集中ケア部門での看護実績を有すること 2) 在胎32週未満の早産児あるいは疾病を持つ正期産児の生後1週間以内における重症集中ケア及び親・家族の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、新生児集中ケア部門で勤務していることが望ましい

特定看護分野の実務研修内容の基準 (特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)	
透析看護	1) 通算3年以上、透析看護分野（血液透析療法）での看護実績を有すること 2) 透析導入期・維持期の血液透析患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。腹膜透析患者の看護実績を有することが望ましい 3) 現在、透析部門に勤務していること、または透析部門での勤務が予定されていること
手術看護	1) 通算3年以上、手術看護分野での看護実績を有すること 2) 手術看護における器械出し看護師・外回り看護師の実績を有すること 3) 現在、手術看護部門で勤務していることが望ましい
乳がん看護	1) 通算3年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること 2) 乳がん患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい
摂食・嚥下障害看護	1) 通算3年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい
小児救急看護	1) 通算3年以上、救急看護分野または小児看護分野での看護実績を有すること 2) 小児救急患者・家族の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、救急看護または小児看護に携わっていることが望ましい
認知症看護	1) 通算3年以上、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等での看護実績を有すること 2) 認知症者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症者の看護実践に携わっていることが望ましい
脳卒中リハビリテーション看護	1) 通算3年以上、脳血管障害患者の多い部署での看護実績を有すること 2) 急性期にある脳血管障害患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、脳血管障害患者の多い施設等で勤務していることが望ましい
がん放射線療法看護	1) 通算3年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門での看護実績を有すること 2) がん放射線療法を受けている患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門で勤務していることが望ましい
慢性呼吸器疾患看護	1) 通算3年以上、慢性呼吸器疾患*患者が多い病棟を中心とした看護実績を有すること（その間、外来、IRCU、または在宅ケア領域での実践を含んでよい） ※ COPD、間質性肺炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺線維症、睡眠呼吸障害等。神経・筋疾患による呼吸障害を含む。以下、慢性呼吸器疾患と省略する 2) 慢性呼吸器疾患の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること（入院から退院まで担当した経験、またはそれに準じる内容であること） 3) 現在、慢性呼吸器疾患患者の看護に携わっていることが望ましい
慢性心不全看護	1) 通算3年以上、心不全患者の多い病棟での看護実績を有すること（その間、外来、在宅ケア部門での看護実績を含んでよい） 2) 心不全の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、心不全患者の多い病棟あるいは外来、在宅ケア部門で勤務していることが望ましい

特定看護分野の実務研修内容の基準 (特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)	
感染管理	1) 通算3年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース会等）を有すること 2) 感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること 3) 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい 4) 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい
がん放射線療法看護	1) 通算3年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること 2) がん放射線療法を受けている患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい
がん薬物療法看護	1) 通算3年以上、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること 2) がん薬物療法を受けている患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) がん薬物療法薬の経静脈投与管理の実績が1例以上あることを必須とする 4) 現在、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい
緩和ケア	1) 通算3年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 緩和ケアを受ける患者を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい
クリティカルケア	1) 通算3年以上、クリティカルケア部門（救急・集中治療部門等。ただし、手術室・NICUは除く）での看護実績を有すること 2) 疾病、外傷、手術等により高度な侵襲を受けた患者の看護を5例以上担当した実績（生命維持装置（人工呼吸器等）を装着した患者の看護を1例以上含む）を有すること 3) 現在、クリティカルケア部門で勤務していることが望ましい 4) 救急蘇生（二次救命処置等）に関する知識・技術を有することが望ましい
呼吸器疾患看護	1) 通算3年以上、呼吸障害*を持つ患者が多い部署での看護実績を有すること ※ COPD、間質性肺炎、肺がん、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺線維症、睡眠呼吸障害等、神経・筋疾患による呼吸障害を含む。以下、呼吸障害と省略する 2) 呼吸障害のある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、呼吸障害を持つ患者の看護に携わっていることが望ましい
在宅ケア	1) 通算3年以上、在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 医療依存度の高い患者の在宅における看護（在宅療養移行支援含む）を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、在宅ケアに携わっていることが望ましい 4) 気管カニューレ管理、胃ろうカテーテル・腸ろうカテーテル・胃ろうボタン管理、褥瘡または慢性創傷管理、輸液管理の知識・技術を有していることが望ましい
手術看護	1) 通算3年以上、手術看護分野での看護実績を有すること 2) 手術看護における器械出し看護師及び外回り看護師としての実績を5例以上有すること 3) 現在、手術室で勤務していることが望ましい
小児プライマリケア	1) 通算3年以上、小児看護分野または救急看護分野での看護実績を有すること 2) 小児患者・家族の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 人工呼吸器及び気管カニューレを装着している小児の看護を経験していることが望ましい 4) 現在、小児の看護に携わっていることが望ましい
新生児集中ケア	1) 通算3年以上、新生児集中ケア部門での看護実績を有すること 2) ハイリスク新生児の生後1週間以内における集中ケア及び親・家族の看護を5例以上担当した実績（ハイリスク新生児の退院支援を1例以上含む）を有すること 3) 現在、ハイリスク新生児のケアを行う部門で勤務していることが望ましい 4) 新生児の蘇生に関する知識・技術を有することが望ましい

特定看護分野の実務研修内容の基準 (特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)	
心不全看護	1) 通算3年以上、心不全患者の多い病棟での看護実績を有すること（その間、外来、在宅ケア部門での看護実績を含んでよい） 2) 心不全の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、心不全患者の多い病棟あるいは外来、在宅ケア部門で勤務していることが望ましい 4) 救急蘇生（二次救命処置等）に関する知識・技術を有することが望ましい
腎不全看護	1) 通算3年以上、腎不全看護分野での看護実績を有すること 2) 腎不全患者・家族への看護を5例以上担当した実績（透析導入期または維持期の血液透析患者の看護を1例以上含む）を有すること 3) 現在、腎不全患者の多い部門で勤務していることが望ましい
生殖看護	1) 通算3年以上、生殖看護領域での看護実績を有すること 2) 性と生殖の健康に困難な課題及びリスクのある個人、家族への看護を5例以上担当した実績（不妊症患者の看護を1例以上含む）を有すること 3) 現在、生殖看護に関連する病棟・外来等で勤務していることが望ましい
摂食嚥下障害看護	1) 通算3年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) 摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい
糖尿病看護	1) 通算3年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること 2) インスリン療法を行っている糖尿病患者または糖尿病合併症を有する患者の看護を、合わせて5例*以上担当した実績（外来または在宅ケア領域での療養支援を1例以上含む）を有すること 3) 現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい 4) 糖尿病及び糖尿病療養支援に関する知識を有し、糖尿病教室や公開講座等の患者教育を実施した実績があることが望ましい ※ 10例以上の経験があることが望ましい。ただし、教育課程への提出事例は5例でよい
乳がん看護	1) 通算3年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること 2) 乳がん患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい
認知症看護	1) 通算3年以上、認知症の人の多い施設（在宅ケア領域を含む）での看護実績を有すること 2) 認知症の人の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、認知症の人の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症の人の看護実践に携わっていることが望ましい
脳卒中看護	1) 通算3年以上、脳卒中患者の多い部署での看護実績を有すること 2) 脳卒中患者の看護を5例以上担当した実績を有すること 3) 現在、脳卒中患者の多い施設等で勤務していることが望ましい
皮膚・排泄ケア	1) 通算3年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること 2) 皮膚・排泄ケア領域における看護を5例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各1例以上含むこと 3) 現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい

14 認定登録情報の公開について



本会公式ホームページでは、認定者の氏名、所属施設名、修了した特定行為区分（認定看護師のみ）の情報公開を行っている。公開情報は、公式ホームページの「分野別都道府県別登録者検索」から閲覧できる情報を公開することで、所属施設または認定者本人に問い合わせ等が寄せられる可能性がある。所属施設名に関しては、事前に所属施設の許諾を得ること

15 個人情報保護方針

本資格認定制度では、申請者および認定者から取得した個人情報を「公益社団法人日本看護協会 個人情報保護方針」に準じ、適切に管理し取り扱う

「公益社団法人日本看護協会 個人情報保護方針」の詳細は、以下の公式ホームページを参照する
<https://www.nurse.or.jp/privacy/>



- ・『資格認定制度 審査申請システム』に登録した情報に基づき、認定看護師認定審査に関わる重要な通知及び認定登録後の活動状況に関する調査の依頼を行うことがある
- ・登録した情報のうち、職位・所属部署等の処遇に関する情報や病床規模等の所属施設に関する情報は、認定登録後の活動状況を分析・検討するための基礎資料として活用することがある

16 各種審査書類と姓が異なる場合



改姓により、申請の氏名（『資格認定制度 審査申請システム』に登録の氏名）と姓が異なる審査書類・情報がある場合は、改姓を証明する書類以下①～③のいずれか 1 点を郵送で提出すること

例：申請者名と各種審査書類に記載の氏名が異なる

各種証明書類に旧姓と新姓が混在する

再受験申請者、前年度筆記試験欠席者、受験資格審査合格者で、前回申請時から改姓した

【提出方法】

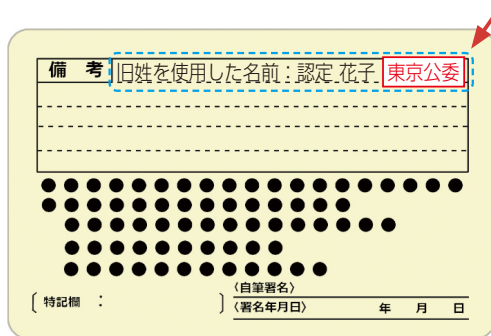
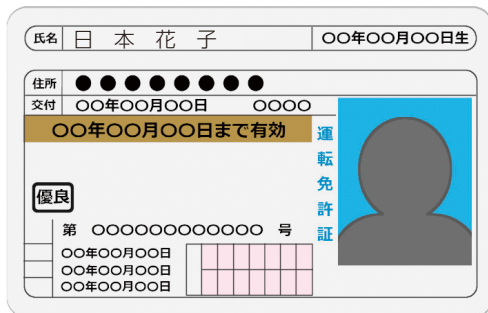
封筒に申請 ID・申請者氏名及び住所を明記の上、配達記録が残る方法（簡易書留または特定記録郵便等）で、下記まで郵送する

〒 150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
 公益社団法人日本看護協会 認定部 CN 認定審査係

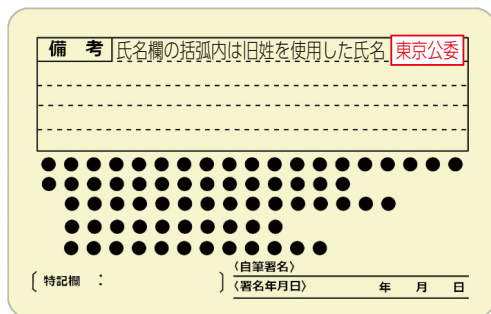
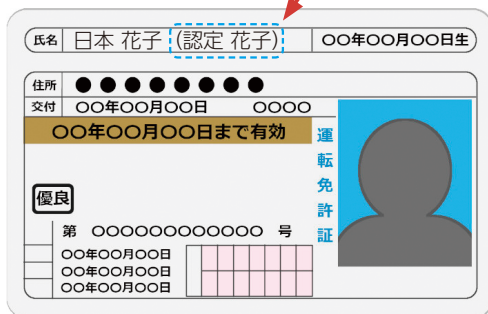
※書類提出期限：審査申請期間の終了日まで（消印有効）

① 運転免許証の表・裏のコピー

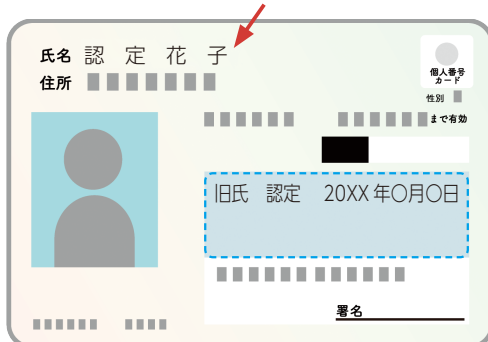
裏書きされる場合



再発行の場合



② マイナンバーカード（表面のみ）のコピー



裏面の個人番号は送らない

③ 新姓と旧姓が併記された公的書類（戸籍抄本、住民票、印鑑登録証明書等）

戸籍謄本は避けること